

準特定地域におけるタクシー車両の未稼働枠の暫定活用について

X営業区域

X営業区域における
適正な車両数

1500台

稼働中

1200台

未稼働
300台30% (90台) を
上限に配分

1. 目的

準特定地域におけるタクシーの未稼働枠について、暫定的な活用を認めることとし、供給の回復状況を検証する。

2. 対象地域

- ① 未稼働枠が存在する地域のうち、各地方運輸局における最大車両数の営業区域
- ② 未稼働枠が存在する地域（暫定活用を希望する事業者があった場合）

3. 認可手続

【申請者】

- 車両の実働率がX営業区域の平均以上である事業者

【増車可能車両数】

- 未稼働車両数の30%の範囲内であること

【認可基準】

- 日車営収が前年度より増加しているか、X営業区域の事業者の平均よりも高いこと
- 走行距離当たりの交通事故件数が、X営業区域の平均未満であること
- 直近1年間に於いて、道路運送法等に基づく行政処分を受けていないこと
- 令和2年度以降の運賃改定後、運転者の賃金が増額されていること 等

【認可に付す条件】

- 暫定増車認可の期限は、令和8年3月31日までとすること
- 認可後には、暫定活用車両を含めたタクシーの稼働状況等を毎月報告すること
- 認可後1ヵ月以内に車両登録を完了しない場合には、認可の効力が消滅すること